

ニセ電話詐欺の認知状況（令和4年5月末）

1 県内のニセ電話詐欺の認知状況（令和4年5月末）

- 被害認知件数は**49件**（前年同期比+30件）
- 被害総額は**約1億4,044万円**（前年同期比+約9,915万円）

2 令和4年5月の認知状況

- 被害認知件数は**11件**（前年同月比+3件）
- 被害額は**約1,942万円**（前年同月比+約1,022万円）
- 主な手口は
 - ・ 架空料金請求詐欺 10件
 - ・ オレオレ詐欺 1件

3 県内のニセ電話詐欺の傾向（令和4年5月中）

架空料金請求詐欺、特にパソコンウイルス除去名目で電子マネーの利用権をだまし取る『サポート詐欺』と言われる手口が、4月に引き続き急増しています。

本年は、ニセ電話詐欺認知件数が昨年の2倍を超えるペースで推移するなど、危機的状況にあります。この状況を打破すべく、長崎県警察は長崎県と共同で、長崎県警察本部長と長崎県知事の両トップによる緊急メッセージを发出了しました。

「だまされんばい 長崎！」を合言葉に、令和4年6月7日から6月16日を「ニセ電話詐欺根絶旬間」とし、被害防止の広報等を集中的に実施していきます。

皆様方におかれましても、「電子マネーを高額購入される方」や「電子マネーを買いた慣れていない様子の方」への積極的な声掛けなど、被害の未然防止に御協力いただくよう改めてお願い致します。

ニセ電話詐欺根絶旬間（6/7～6/16）

～だまされんばい 長崎！～

4 被害状況など

～被害者の年齢・性別構成～

年齢	令和4年5月末(人)		
	男性	女性	計
0～19	—	—	—
20～29	3	1	4
30～39	—	1	1
40～49	1	3	4
50～59	6	1	7
60～64	1	5	6
65～69	7	8	15
70～79	3	3	6
80～89	3	3	6
90～	—	—	—
合計	24	25	49
うち65歳以上の高齢者	13	14	27

～ニセ電話詐欺全体の被害金交付形態～

交付形態	令和4年5月末 件数
振込型 （犯人が指定する口座に振り込ませる）	23
現金手交型 （犯人が直接現金を受け取る）	4
現金送付型 （郵便や宅配便などで現金を送らせる）	—
電子マネー型（コンビニで電子マネーを購入させる）	21
キャッシュカード手交型	—
収納代行利用型（コンビニ決済）	—
キャッシュカード窃取型	1
合計	49